

oneness

—いのちの循環—

市川市文学ミュージアム企画展

生誕70年記念 星野道夫展

市川に生まれ育ち、アラスカの大自然やそこに息づく野生動物、先住民族の暮らしを見つめ寄り添った写真家星野道夫。星野は写真という媒体を通して“いのち”を捉えつづけてきました。

人間や動植物だけでなく、大地や風のゆらめきにもいのちのつながりを感じた作品は、現代社会に生きる私たちに自然と一体となるいのちの物語“Oneness”を伝えてくれます。

本展では星野の旅の軌跡を写真と言葉で辿るとともに、市川での生活に触れた著作品も紹介いたします。

EVENT

イベントのお知らせ

参加
無料

スライド & トーク 星野道夫の世界 いのちのつながりを見つめて

- 出演 星野直子氏（星野道夫事務所代表）
- 日時 7月30日（土）
13:30～15:00（開場 13:00）
- 会場 市川市生涯学習センター2階グリーンスタジオ
- 入場無料 定員 200名
- 事前申込制 応募方法の詳細は広報いちかわ、公式 Web サイト、
ツイッター等で随時お知らせ致します。

読み聞かせ会 星野道夫の絵本の世界

- 日時 8月5日（金）
10:30～11:00（開場 10:00）
14:00～14:30（開場 13:30）
- 会場 市川市生涯学習センター2階ベルホール
- 入場無料 各回定員 40名
- 事前申込制 応募方法の詳細は広報いちかわ、公式 Web サイト、
ツイッター等で随時お知らせ致します。

上映会 地球交響曲 ガイアシンフォニー 第三番

- 日時 8月20日（土）
13:30～16:00（開場 13:00）
- 会場 市川市生涯学習センター2階グリーンスタジオ
- 入場無料 定員 200名
- 事前申込制 応募方法の詳細は広報いちかわ、公式 Web サイト、
ツイッター等で随時お知らせ致します。

◎新型コロナウイルスの感染拡大防止のため、イベント等が中止・変更または臨時休館となる場合があります。詳細はホームページ、ツイッター等で随時お知らせいたします。

市川市文学ミュージアム Ichikawa City Museum of Literature

交通
アクセス

【JR総武線】本八幡駅・下総中山駅より徒歩15分【都営新宿線】本八幡駅より徒歩20分
【京成線】鬼越駅より徒歩10分【車】京葉道路 京葉市川インター下車5分

※駐車場はありますが、できるだけ公共交通機関をご利用ください。
※本八幡駅からコルトンバス（無料）もご利用いただけます。

〒272-0015 市川市鬼高1丁目1番4号
市川市生涯学習センター（中央図書館）2階 市川市文学ミュージアム（月曜日休館）
TEL 047-320-3334 FAX 047-320-3356
公式Webサイト <https://www.city.ichikawa.lg.jp/cul06/litera.html>

問い合わせ

文学ミュージアム
Twitter



●上：ムース（デンナリ国立公園 ワンダーレイク） ●中：グリズリーの親子 ●下：ザトウジラのプリーチング
●表上：氷の世界に生きるホッキョクグマの親子 ●表下：夕暮れの極北の河を渡るカリブー

星野 道夫（ほしの みちお）

1952年、千葉県市川市生まれ。19歳の時に目にしたエスキモーの村の空撮写真に惹かれ、村長宛に手紙を書く。半年後、訪問歓迎の返事を受け、20歳の夏に念願のアラスカに約3ヶ月滞在。帰国後、写真家になる決意をし、慶應義塾大学卒業後、動物写真家 田中光常氏の助手を2年間務める。1978年、アラスカ大学野生動物管理学部に入學。以後、アラスカの人々と人々をテーマに写真と文章を記録して発表。1996年8月、カムチャツカ半島で取材中にヒグマの事故により急逝。アニメ賞・木村伊兵衛写真賞を受賞。

Michio Hoshino



撮影を終え、たき火の前でくつろぐ

